

配信先：

京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、文部科学記者会

## NEWS RELEASE



2021.9.28 <計2枚>

報道関係者 各位

立命館大学広報課

### Post コロナ社会における課題解決、価値創造に貢献する研究プロジェクト 13件の提案を採択・多様な研究を推進

立命館大学は、Post コロナ社会における課題解決、価値創造に貢献する多様な研究を推進するため、本学教員を対象に「Post コロナ社会 提案公募研究プログラム-Visionaries for the New Normal-」を公募し、このたび 13 件(研究費総額:約 2,300 万円)を採択しました。

本学は 2020 年 9 月から、新型コロナウイルス感染症に関する調査研究や基礎研究、応用研究を支援する「With コロナ社会 提案公募研究プログラム-Visionaries for the New Normal-」を実施し、大学の総合知をいかした With コロナ社会における研究活動に取り組んできました。これまでに、つぶやくだけでクリアに伝わる「ボイスピックアップマイク」の開発、オンライン会議でメンタル計測ができる「心の距離メーター」の構築などの成果が出ています。

今回は、Post コロナ社会を見据えた新たな価値の創造を積極的に推進することを目的とし「新しい大学教育手法に関する研究」「Post コロナ時代に資する研究」の 2 つのカテゴリーを新たに募集した結果、学際・自然科学・人文社会科学分野から 43 件の提案が集まり、審査を経て 13 件の提案を採択しました。

今後は、今回の採択提案を実施し、昨年の取り組みの検証も行いながら、総合大学としての研究者の多様性、強みをいかし、幅広い知を結集した新たな研究課題に取り組めます。

**【採択された企画提案の例】 ※すべての採択シーズは別紙をご覧ください。**

#### ■新しい大学教育手法に関する研究

<Post コロナ × DX × 最先端英語教育:VR 技術を用いた英語自律学習環境の開発と実装>

研究代表者:山中司・生命科学部教授

研究概要:最先端 VR 技術を用いた、大学英語教育における自律学習支援のプログラムを開発、実装を目指している。テクノロジーに囲まれた未来の英語教育を具体的に指し示すことで、社会的インパクトを持った教育的取り組みを行う。具体的には学習者のスピーキング能力の向上に特化した、VR ゴーグルを用いた AI による自律学習プログラムを開発する。

#### ■Post コロナ時代に資する研究

<飛沫拡散抑制に向けた小声から明瞭音声への音声復元システムの構築> ※昨年度から継続

研究代表者:西浦敬信・情報理工学部教授

研究概要:飛沫拡散の少ない小声を検出可能な皮膚密着型ボイスピックアップマイクロホン(昨年度開発)の自然性向上を目指し、AI 技術を使って小声を明瞭性の高い通常音声に復元することで、飛沫と騒音の拡散防止を両立可能な新しい生活様式に適したオンライン会議・講義環境を支援する。

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和

TEL.075-813-8300 <http://www.ritsumeai.ac.jp/>

別紙 採択一覧(全13件)

新しい大学教育手法に関する研究			
研究代表者			研究課題
政策科学部	教授	宮脇 昇	大学の学びを変えるハイブリッド・ゲーミングの比較検証の研究
生命科学部	准教授	山下 美朋	持続可能なフィードバック体制を基盤とするPostコロナ時代の外国語教育の学生支援モデル構築
産業社会学部	教授	大谷 いづみ	困りごとを抱えた学生と教員を架橋するプラットフォームの構築:Postコロナ社会における高等教育のハイブリッド化による「障害学生」支援の未来
産業社会学部	准教授	永野 聡	学習者視点で考えるハイブリッド型ボードゲームの開発を通じた新しいアクティブラーニング(フィールドワーク)に関する実証的研究
生命科学部	教授	山中 司	Post コロナ × DX × 最先端英語教育:VR 技術を用いた英語自律学習環境の開発と実装
食マネジメント学部	准教授	野中 朋美	GastroEdu:生産者と生活者を教育を媒介につなぐオンラインワークショップ「ポテトアドベンチャー」「コーヒーアドベンチャー」

Post コロナ時代に資する研究			
研究代表者			研究課題
文学部	准教授	花岡 和聖	Postコロナ社会における近隣地区の在り方—位置情報ビッグデータを用いたレジリエンス評価—
先端総合学術研究科	教授	立岩 真也	災害弱者と感染症アーカイブを通じたPost-COVID-19における新たな共創社会
立命館アジア・日本研究機構	准教授	黒田 彩加	アジアにおけるパンデミック対応の多様性:Postコロナ時代の社会観・倫理観の比較研究
理工学部	助教	櫻田 武	デジタルリンクリハビリテーション実現に向けたオンラインニューロフィードバックシステム開発
情報理工学部	教授	西浦 敬信	飛沫拡散抑制に向けた小声から明瞭音声への音声復元システムの構築
理工学部	教授	小西 聡	携帯端末を使った生き物研究のリモート支援
スポーツ健康科学部	教授	冢光 素行	運動時(課外活動・体育授業等)における免疫機能応答の検討と低下予防策の提案